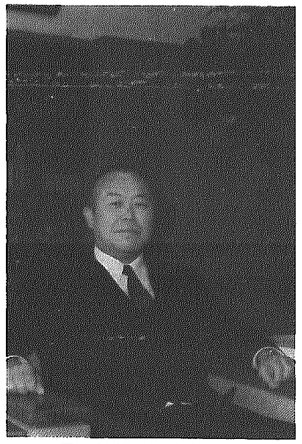
五年以内に町制施行

総合体育館の建設や全村公共下水道整備に全力

―新年・村長インタビュー―

村民の皆様、明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いします。
また、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。
ところで、新年の特集として浅見村長に村政に関して、次の項目についてインタビューをしました。



村民の皆様に夢を与えたい。また、その夢を実現させるため精一杯努力すると語る浅見村長

新年の抱負についてお聞きします。

総合計画の中にも掲げているが、総合体育館の用地買収も終わり、重点施策として平成五年から六年の二ヶ年で建設する予定にしている。

面積的には、中学校の体育館の倍以上の四千六百平方米を予定していて、音響効果などを考慮した多目的な構造物になる。

また、将来的な生涯学習施設コンビナート構想としては、そこにカルチャーセンター的な公民館、プールなどの建設も予定しており、生涯教育の館作りも充実させていく。

町制施行についてお聞きします。

平成四年三月議会の施政方針の中で五年以内ということを言ってきた。

現在、「新潟県住宅供給公社」や「横越西土地区画整理組合」の宅地分譲など将来的に人口増を見込めるが、地権者の皆さんからも早期に住宅建築が促進されるよう協力をお願いしたい。

町制施行するためには、五つの条件があるが、人口の一万人の要件を満たせば、ほぼ達成できる。

西区画には、第四銀行の出店も決まっており、大きな金融機関がくるということは、付加価値も違ってくるし、町制施行に向けての足がかりにもなる。

医療体制は、充実しつつあるが、防災対策面で消防の広域体制をつくらなければならない。非公式ながら、亀田町に協力をお願いしている。

また、四十九号線の歩道整備とあわせて村のメインストリートづくりも町制施行に向けた条件整備の一つである。

これからも更に市街化区域の整備をすすめ、その時になって町制施行というのではなく、五年という目途で町制施行をやるんだということを村内外に宣言し、行政的にも住民の皆様からも、それぞれ意識変換や諸条件整備を行いながら町制施行を実現していきたい。

百万人都市構想の中で横越村の位置づけについてお聞きします。

世界がかわり、日本がかわり、新潟がかわるということで、結論的に言えば百万人都市構想は推進すべきであると考えている。

太平洋側には、十二の政令都市があり、日本海側には、一つもない。

たとえば、政令都市の仙台は、この辺（新潟）と活力的にも違う。

ところで、新潟市には、経済や人口が集中し、国際化の中で対応しきれなくなってきていて広域化が進行している現状である。

このような中で、直経二十五から三十キロの新潟経済圏域を考えると横越村は、十キロぐらいで中心に位置し、重要な役割を担う。

いずれにしても自分たちの子供や孫の時代には、必然的にそういう方向になっていくのではないか。

嫁婿対策についてお聞きします。

好きだけれども農家だから嫁にいかない等、確かに深刻であるが、現実の問題として、農業をやっている方の中でも自分の娘は農家へ嫁がせたくないという傾向もあるのではないか。

村では、昨年、十一月に農業担い手育成協議会を設立して、農業の後継者対策、嫁婿対策にも力を入れている。

いずれにしても本人の努力次第であり、親や村がおしつけるものでもないので、男性、女性の個性を尊重しながら、そういう機会の場づくりなども考えていきたい。

国際交流についてお聞きします。

国際交流は、まず、相手の国の文化を理解し、自分の国との文化の違いを理解しなければならない。

現在、村の国際交流といえるものはないが、国内外を研修する場合の助成制度として人材育成研修助成制度をつくり、積極的な活用を呼びかけている。

ところで、言語や文化の問題をみた場合、私を含めて視野がせまいので、村でも国際的、国内的にも一流の指導者であり、国際人である北方文化博物館長より、国際交流に対して指導を賜り、意見などをお聞きして、糸口をみいだせるものについては、一歩一歩やっていきたい。

今後の村の財政見通しについてお聞きします。

楽観はできないが、総合計画に基づいて村民の皆様の協力があれば問題ない。

ところで、農業、商工業、観光などに力を入れながらも全村公共下水道整備を目指して重点施策として実施していきたい。

快適な住環境をつくりながら、同時に自然もとりもどしたい。

横越村に住んでよかったと言われる県下一の居住環境をつくりたい。

また、県や国の予算を引き出し、村の単独的な支出を極力抑制しながら、効率的な財政運営をしていく。

余暇時間を有効に活用しませんか

中央公民館 自主学習案内

古文書研究会（仮称）の会員募集

中央公民館では、古文書講座を開催して、古文書の解読についてお研究してきましたが生涯学習の場として、今後、自主的に研究していくことになりました。

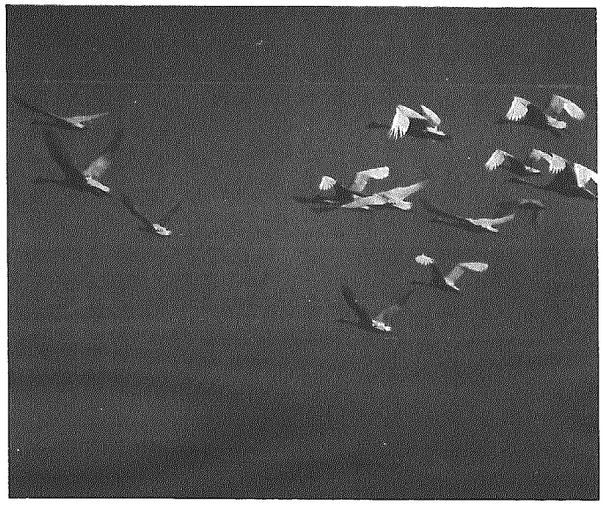
そこで、この会に入り、古文書の解読をしてみたい方は公民館（電話三八五―二〇四三）まで連絡して下さい。

篆刻講座の愛好者募集

中央公民館では、さきに篆刻講座を開催してきましたがその愛好者がグループを作り、今後、自主的に運営していくことにしました。

篆刻に興味をもち、やってみたい方は、公民館（電話三八五―二〇四三）まで連絡して下さい。

はばたけ酉年生まれ



（撮影　本間一人氏）

サル年が去ると次はトリ年。トリ年は、十二支の十番目の「酉」にニワトリをあてはめたものですが、考えてみるとちょっとゆかいなのは、昔、〝酉の刻〟といわれた時刻が今の午後六時ごろとその前後約二時間で、どう考えても夜明けを告げるニワトリには、ふさわしくないことです。

また、〝酉の方角〟というのは西の方だそうですが、ニワトリというのは何となく日の出の方向が似合うように思えるのですが……。

ところで、村の人口は、平成四年十一月末現在、九千六百九十四人で、その内、酉年生まれは、七百人余りで全人口の七％を占めます。

そこで、村の酉年生まれの十代から七十才までの男性、女性を無作為に抽出して、次の七名の方々から、新年の抱負、夢を語ってもらいました。

横越
熊倉　雅人
昭和56年生
小学校6年

「勉強も頑張り卓球で父に勝ちたい」

ぼくは、今年から中学生になります。中学校にはいったら小学校のときより勉強をがんばりたいです。

なぜかというと小学校では算数をまじめにやらなかったので数学をがんばりたいと思います。部活では卓球にはいりたいと思っています。今、亀田の卓球道場に通っています。そして一日も早くお父さんに勝ちたいです。

沢海
諸橋百合子
昭和44年生
会社員

「家族全員の健康が第一」

私の新年の抱負は、家族みんなが健康ですごすことです。自分が病気になればもちろんつらいし、家族の誰かが具合いが悪くなってもたいへんだからです。

それに、家族だけではなく会社などいろいろな所で迷惑をかけてしまいます。

だから私は、家族みんなが健康で、大きな病気もせずにすごすことを抱負にしたいと思います。

沢海
米山　節子
昭和44年生
公務員

「人に希望を与える人間になりたい」

明けましておめでとうございます。

24歳という年齢は、とても大人びた印象で少し戸惑いを感じます。

そんな私が思うことは、人に希望を与えられる人間になりたいということです。今まで自分がしてもらったように……。先生、友人、職場の人達、そして家族が夢と、希望と、情熱を与えてくれました。感謝するとともにそうなれることが目標です。

仕事や生活に自分のペースをつかみはじめたこれからが私のスタートです。

小杉
鈴木　修一
昭和32年生
公務員

「子供たちと沢山遊びゴルフコンペで優勝したい」

私の今年の抱負は、子供たちと沢山遊ぶことです。職場も学校も週休二日の時代を迎えたのですから、三人の子供を中心として余暇を十分活用していきたいと思います。

また、周囲に対して責任ということを考えずに行動していたので、人を信頼し、人から信頼されるよう自己研鑽していき、職場で、地域で行動していきたいと思います。

そして、地域のゴルフ大会である小杉コンペで永遠の夢である優勝することができたら至福の一年です。

駒込
小武　正子
昭和20年生
会社員

「家族の健康と明るい家庭が夢」

おめでとうございます。

嫁いで三十年近く二人の子供も成人して、自分達の道を歩きはじめ親の務めも一つ数がへりました。

子育てと生活に追われているうちに四十八才になります。健康だけがとりえの私と思っていましたが、この頃は運動不足のためか身体の不調が気になります。私の夢や目標は家族の健康と明るい家庭、それから少し自分の時間を見つけて体力づくりをしたり好きな草花でも見て楽しい生活を送りたいと思います。

二本木
遠藤　秀雄
昭和8年生
左官業

「健康が楽しみ仕事に趣味に頑張る」

今年も健康第一に考え、仕事の合間をぬって、趣味のゲートボールと鮎つりを満喫したい。

ゲートボールは、二本木ゴロゴロチームに所属し、これまで、北は青森から、南は鹿児島まで、全国大会に五回出場してきた。

ゲートボールは、暖い時は週四回ほど練習し、腕をみがいている。

また、鮎つりも以前は、栃木、福島などの県外にも足を伸ばしたこともあるが、今は県内中心。とにかく、健康を楽しみに思い、仕事と趣味に頑張りたい。

木津
小野塚ヨシ
大正10年生
無職

「健康第一にボランティア活動が楽しみ」

あけましておめでとうございます。早いものでこれで七回目の年女を迎える事が出来ました。この年になると、新年の抱負などは特別にあるわけではありませんが、今年も一年元気で達者でいられるならばそれでいいと思っています。家族皆で仲良く健康に今年も過せたら幸せに思います。

また月に二回ある一美会（ボランティアグループ）を毎回とても楽しみにしています。今年も休むことなく参加して行き、皆さんと交流を深めて行きたいと思います。